

## 高齢者が居住する住宅の浴室・脱衣室環境とトイレ 環境の実態と問題点

窪田, 恵子

<https://doi.org/10.15017/459016>

---

出版情報 : Kyushu University, 2005, 博士 (芸術工学) , 課程博士  
バージョン :  
権利関係 :

## 引用文献

赤澤寿美・梶原円・十河正典・石崎文子・山村安弘(2000)：高齢者における日常生活動作の血圧変動—とくに入浴と排便の影響について—，自律神経,37：431/439

秋山久尚・相馬一玄・大和田隆・今井寛・栗原克由(1999)：老年者の入浴中に発生した心肺機能停止症例の最近10年間の臨床的検討，日救急医学会誌，10：132/140

朝田隆・木之下徹(1994)：市街地の住宅老年者における転倒の予測因子，日本老年医学会雑誌,31(6)：456/461

浅川康吉・高橋龍太郎・香川順(2001)：都市在住高齢者の転倒・転落事故—救急搬送事例の検討—，日本老年医学会雑誌，38：534/539

新井治子・二渡玉江・広町佐智子・伊藤まゆみ・伊藤善一(1993)：老人の転倒に影響を及ぼす日常生活の要因，群大医短紀要，14：7/13

栗津原昇・金子勇(1990)：浴室・便所改造の基本的考えかたと改造の実際，PTジャーナル，24(3)：197/204

江藤文夫(1984)：老年者と転倒，Geriatr. Med. 22：779/783

江藤真紀・久保田新(2002)：地域高齢者の生活環境・習慣と転倒特性およびその後の変化，日本看護研究学会雑誌,25(4)：33/51

榎本ヒカル・久保博子・磯田憲生・梁瀬度子(1995)：高齢者の居住温熱環境の特徴～関西地区における夏季及び冬季の住まい方に関する調査研究～，日本家政学会誌，46(11)：1091/1100

橋本美芽(1997)：実践講座 住環境整備の実際 家屋と住まい方，  
総合リハ，25(2)：149/153

橋本美芽・八藤後猛・野村歡(2000)：動作能力に応じた入浴動作と浴室  
改造項目の尺度化—高齢者・障害者を対象とした浴室改造の評価尺度  
に関する研究—，日本建築学会計画系論文集，529：171/178

平手小太郎・飯尾昭彦・鎌田元康・浅野良晴・石渡博・紀谷文樹・桑沢  
保夫・坊垣和明・市川憲良・田中正敏(1993)：住宅用給湯設備の使用  
感に関するアンケート調査 第2報—浴室周りの調査および湯使用時  
の要求水準，空気調和・衛生工学会論文集，52：71/80

平手早苗・川崎砂代子・梁瀬度子(1988)：高齢者の日常生活における動  
作の特性（第2報）加齢による身体計測値と運動機能の変化，人間工  
学，24(6)：409/416

平松伸一・丸山徹・加治良一・金谷庄蔵・藤野武彦・高杉紳一郎・仁保喜之  
(1999)：健常男性における温浴中の心行動態および自立神経機能の変化  
に関する検討，日本生理人類学会誌，4(3)：27/33

福井準之助(1992)：高齢者の尿失禁看護，別冊看護学雑誌 JJN スペシャ  
ル，29：14/55

藤田利治・籀野脩一(1989)：地域老人の日常生活動作の障害とその関連  
要因，日本公衛誌，36(2)：76/87

舟山真人・山口吉嗣(1990)：高齢者の入浴中の死亡—東京都23区内の分  
析より—，保健婦雑誌，46(1)：54/59

堀進悟(1998)：入浴中の急死，内科専門医会誌，10(1)：68/72

堀進悟(1999)：入浴中の突然死，日温気物医誌，63(1)：7/8

堀進悟・中村岩男・木村裕之・青木克憲・鈴木昌・藤島清太郎・相川直樹(2000)：寒冷期における中高年者の入浴中の事故 ～救急医学の面から～，日本医事新報，No.3996，15/20

池田由里子(2002)：特集高齢者の転倒 高齢者にたいする住環境整備，PT ジャーナル，36(5)：337/343

今本喜久子・新穂千賀子：高齢期の健康科学 (2001)，メディカ出版，241/275，

稲村啓二 (1995)：B-132 高齢者の入浴中の急死の検討，法医学の実際と研究，38：349/351

泉キヨ子(1996)：重心動揺ならびに歩行分析による高齢者における転倒予測因子に関する研究，金沢大学十全医学会雑誌，105(5)：603/616

嘉規智織(2001)：高齢者の歩行と住宅設計，理学療法，18(4)：425/431

金井克子(1990)：老人の骨折に至る転倒発生の要因に関する研究，研究業績年報，6(1)：124/129

金井謙介(2002)：大阪市の住宅改造助成制度を利用した高齢者の特徴と改造の実態—高齢者の障害に対応した居住空間の改造に関する基礎的研究—，日本生理人類学会誌，7(2)：27/34

神田清子・栃原裕・大中忠勝・飯田苗恵・土屋純(1996)，在宅高齢者の浴室での転倒に影響をおよぼす要因，群馬大学医療技術短期大学部紀要，17：35/41

川島康子・高取利子・吉原裕美子・福屋靖子(1992)：講座 障害者・高齢者のための住宅・6 在宅障害者・高齢者のための住宅関連福祉機器，PTジャーナル，26(12)：847/857

健康・栄養情報研究会(2004)：国民栄養の現状(平成14年度厚生労働省国民栄養調査結果)，第一出版(株)，114/115

建設省住宅局 住宅整備課(1996)：長寿社会対応住宅設計マニュアル① 戸建住宅，14/29

菊沢康子・梁瀬度子・磯田憲生・五十嵐由利子・岩重博文・榊原典子・徳田哲男・長沢由喜子・水野由美・宮沢モリエ・久保博子(1993)：高齢者の居住環境と温熱適応能力に関する研究(第3報 ～住み方対応にみられる特徴～，日本家政学会誌，44(1)：55/63

(財)厚生統計協会(2002)：厚生指標(臨時増刊)交通事故死と家庭における不慮の事故死の年次推移，49(16)：1/96

(財)厚生統計協会(2004)：厚生指標(臨時増刊)，国民衛生の動向，51(9)：36/68

輿水ヒカル・枋原裕・池田耕一・岩田利枝・市川勇・石川享子・徐慎之・松井清彦・倉下美和子・梶原厚子・岡田幸枝・知念照子・稲垣恵子・植竹真弓・豊岡由賀・下田美穂・田中あゆ子(1996)：都市居住高齢者の室内環境に関する実態調査，第20回 人間—生活環境系シンポジウム抄録より，187/190

久保田一雄(2001)：特集／冬季における高齢者特有の疾病対策 冬と高齢者 高齢者の入浴，臨床と研究，78(12)：17/19

窪田恵子・栃原裕・大中忠勝・吉武美佐子(2004)；高齢者が居住する住宅の浴室環境の現状－世帯構造と身長ならびに年齢との関連－，人間と生活環境，11(2)：63/71

桑島巖(2000)：寒冷期における中高年者の入浴中の事故 循環動態の面から，日本医事新報，No. 3996，1/5

眞野行生(2000)：高齢者の転倒とその対策，医歯薬出版株式会社，97/103

円山啓司・重臣宗伯・佐藤ワカナ・木山強・吉岡尚文(1998)：秋田県における浴槽内心肺停止症例の検討，救急医学，22：860/862

溝口千恵子(2002)：住宅改修 ABC 第 10 人間の尊厳に大きく関わるトイレの改造，Gpnet，66/69

溝口千恵子(2003)：住宅改修 ABC 第 22 住宅改修イコール手すりの設置の誤解本当に必要な手すりの設置を見極める，Gpnet，72/75

美和千尋・岩瀬敏・松川俊義・菅屋潤壹・杉山由樹・間野忠明・山口浩司(1994)：40℃入浴 60 分間がヒトの心血管機能と体温調節機能に及ぼす影響，自律神経，31(1)：38/46

本橋茂(2003)：転倒にかかわる薬，看護学雑誌，67/8:770/775

森松光紀(1991)：特集 老年者の転倒 老化による歩行障害，Geriat.Med.29：658/662

中西範幸・多田羅浩三・中島和江・高林弘之・高橋進吾・植村裕美・池田和功(1997)：地域高齢者における尿、及び便失禁－出現頻度、関連要因と生命予後－，日本公衛誌，44(3)：192/193

名倉英一・後藤純規・遠藤英俊・柳沢信夫・大島幹子(2001)：高齢者総合診療外来の検討，55(2)：83/88

奈良昌治・谷源一・小松本悟(1994)：高齢者の入浴事故死の医学的および社会的検討，日本老年医学会雑誌，31：532/537

日本老年医学界雑誌編集委員会編集(2000)：今日の老年医学 臨床と基礎，中外医学社，38/46

西嶋洋子・荒尾孝(1996)：質問誌による在宅高齢者の身体活動能力の実態，体力研究，90：30/43

新田収・筒井孝子(1995)：報告 在宅障害高齢者における入浴用福祉用具導入を決定する要因の検討—入浴用マット、手すり導入を決定する要因—，理学療法学，22(5)：189/195

延原理恵(2001)：日常災害と高齢者の居住環境について，日本生理人類学会誌，6(2)：23/26

野村歡(1997)：手すり，JOURNAL OF CLINICAL REHABILITATION，6(4)：371/375

野村歡(1998)：高齢者の住環境の設計 —最近の考え方—，日本老年医学会雑誌，35:251/257

野村歡(2000)：住環境整備の課題，総合リハ，28(1)：83/87

野村みどり(1993)：バリア・フリーの生活環境，医歯薬出版株式会社，26/47

能勢隆之(1990)：高齢者の転倒の頻度及び原因に関する研究，笹川医学医療研究財団研究業績年報，6(1)，113/118.

岡田修一(1996)：特集外乱刺激と平衡機能 加齢と平衡機能 一外乱刺激に対する高齢者の立位姿勢応答一，理学療法，13(3)：183/188

レイン・ティディクサー著，林泰史監訳(2001)：高齢者の転倒，メデイカ出版，1/35

佐鹿博信(1991)：増大特集 老年者リハビリテーション 歩行とバランス，総合リハ，19(4)：305/309

佐藤秀紀・中嶋和夫(1997)：高齢者における日常生活関連動作の分析，理学療法学，24(1)：1/8

千野良子(1996)：特集転倒防止はナースの役割 転倒患者の見直しから、防止のために何をどう変えたか，EXPERT NURSE，12(7)：36-40

柴田博・加納克己・安村誠司・芳賀博・新野直明・崎原盛造・伊藤元・鈴木隆雄(1997)：地域の高齢者における転倒・骨折に関する総合的研究，平成7年度～平成8年度科学研究費補助金基盤研究A〔1〕研究成果報告書〔課題番号：07307007〕，1/163

重臣宗伯・佐藤ワカナ・円山啓司・吉岡尚史(2001)：高齢者の入浴中突然死に関する調査研究，日救急医学会誌，12：109/120

塩中雅弘・植松光俊・江西一成・山田真澄・中驊美佳(2001)：屋内環境における高齢者の歩行，理学療法，18(4)：393/399

新谷富士雄・渡辺真司・稲木一元・田中政(1982)：和式入浴における血圧・心拍数の推移とその臨床的意義，ICUとCCU，6(9)：751/758

杉浦美穂・長崎浩・古名丈人・奥住秀之(1998)：地域高齢者の歩行能力ー4年間の縦断変化ー，体力科学，47：443/452



鈴木隆雄・杉浦美穂・古名丈人・西澤哲・吉田英世・石崎達郎・金憲経・湯川晴美・柴田博(1999)：地域高齢者の転倒発生に関連する身体的要因の分析的研究—5年間の追跡調査から—，日本老年医学会雑誌，36(7)：472/478.

鈴木隆雄(2003)：転倒の疫学，日本老年医学会雑誌，40：85/94

鈴木みずえ・大友昭彦・山田紀代美・首藤美智子・渡邊祐子・加納克己・土屋滋(1993)：高齢者の転倒と身体機能に関する基礎的調査研究，看護研究，26(5)：75/85

高橋伸彦・斉藤昌彦(1994)：B-123 入浴中の突然死について—宮城県鳴子警察署における近年の検案事例の検討—，法医学の実際と研究，37：391/395

高橋信子(1998)：運動機能障害をもつ女性の排泄行動に関する研究—立ち座り動作と中腰姿勢との比較—：看護人間工学研究誌，1：37/45

高橋信子・片平清昭・岩崎祥一(1996)：重心動揺からみた手すりの必要性，人間工学，31：304/305

高橋信子・片平清昭・松尾あや子：運動機能障害をもつ女性の排泄行動を考える～入院患者からの聞き取り調査結果～，人間工学，32：140/141

竹原広美・梁瀬度子・西川向一・村上恵子(2001)：浴室環境及び入浴行動に関する調査研究(第2報)入浴行動の実態及び入浴意識について，日本家政学会誌，52(10)：1005/1013

田中敏明(2001)：高齢者の視覚と転倒，理学療法，18(9)：847/851

種田行男・永松俊哉・荒尾孝・峯岸由紀子・江橋博(1991)：高齢者の日常生活における身体活動能力（生活体力）測定法の開発に関する研究  
第1報 姿勢保持能力について，体力研究，78：1/9

Tochihara, Y., Ohnaka, T., Nagai, Y., Tokuda, T. and  
Kawasima, Y. (1993): Physiological responses and thermal  
sensations of the elderly in cold and hot environments,  
J. Therm. Biol., 18, 355/361

徳田哲男・林玉子(1988)：体格よりみた高齢者の経年変化に関する研究  
—10年間の縦断面的研究—，人間工学，24(1)：61/69

徳田哲男・児玉桂子・西條富美代(1995)：高齢期の環境適応力に応じた  
移動寸法に関する研究—高齢女性の立ちあがり座り、昇降およびまた  
ぎ動作について—，人間工学，31(1)：9/20

徳田哲男・梁瀬度子・磯田憲生・五十風由利子・菊沢康子・岩重博文・榊原典  
子・長沢由喜子・水野由美・宮沢モリエ・久保博子(1993)：高齢者の居住環境  
と温熱適応能力に関する研究(第4報)～指標間対応にみられる特徴～，日本  
家政学会誌，44(1)：65/72

東京商工会議所(2003)：福祉住環境コーディネーター検定（2級テキスト）  
改訂版，東京商工会議所検定事業部検定センター，

東陶機器(株)(2002)：バリアフリーブック 住まいの水まわり編，10/34

都市生活研究所(2001)：都市生活レポート 入浴中急死の事例検討，5/6

坪井章雄・佐々木久登・宮樫誠二・高木昭輝・鳥井浩司・山下望美(1996)：  
手すりの方向と高さ位置の検討 —椅子からの立ち上がり・座り動作  
から—，OTジャーナル，30：688/691

- 植松光俊・塩中雅弘・江西一成(2001):高齢者の歩行特性,理学療法, 18(4):382/392
- 内山靖(2001):高齢者の平衡機能と転倒,理学療法, 18(9):858/864
- 梁瀬度子・川崎砂代子・平手早苗(1988):高齢者の日常生活における動作特性(第1報)加齢による生活動作能の変化,人間工学,24(4):227/234
- 梁瀬度子・竹原広実・西川向一・村上恵子(2001):浴室環境及び入浴行動に関する調査研究(第1報)近畿地区内の戸建住宅における浴室環境の実態について,日本家政学会誌,52(10):995/1003
- 安原正博(2000):寒冷期における中高年者の入浴中の事故 法医学の面から,日本醫事新報, No.3996, 21/25
- 安村誠司・芳賀博・永井晴美・柴田博・岩崎清・小川裕・阿彦忠之・井原一成(1991):地域の在宅高齢者における転倒発生率と転倒状況,日本公衛誌,38(9):735/741
- 安村誠司・芳賀博・永井晴美・柴田博・岩崎清・小川裕・阿彦忠之・井原一成・崎原盛造(1994):農村部の在宅高齢者における転倒の発生要因,日本公衛誌,41:528/537
- 安村誠司(1998):高齢者の転倒の原因,Osteoporosis Japan, 6(3):18/22
- 八藤後猛(1990):車椅子使用者の利用を考慮した住宅改造—考え方の基本特性と実例の考察—,PTジャーナル,24(6):401/406
- 横井郁子・青木和夫(1998):局所寒冷暴露時の血圧と心拍変動に関する研,日本生理人類学会誌,3(3):105/108

吉岡尚文・二部恒美・円山啓司・重臣宗伯（1998）：B-154 浴室での内  
因性急死例の実態調査と問題点について，法医学の実際と研究，41：  
353/359